

平成30年度 旭川市立永山小学校 公開研究会

# 研究発表



平成30年11月22日

旭川市立永山小学校 研究部

# I 研究の概要

# I 研究の概要

## (1) 研究主題について

### 【成果】

- 学習に取り組む姿勢や、聞き方などを意識して学習できる児童が増えた。
- 自分の考えをもったり、進んで話したりする児童が増えた。
- 聞き合うことで、学級風土や学習意欲につなげることができた。
- 主体的に学ぶ姿が見られるようになった。
- 互いに学び合う姿も見られるようになった。

### 【課題】

- 単元を貫く言語活動と1単位時間の課題との関わり（国語科としての教科の特性）
- 必要感のある課題の設定のあり方
- 交流のもち方（交流が目的になっていないか、交流の意味、目的）をさらに意識する
- 振り返りの時間の確保と、その生かし方
- 深い学びに結び付くような話合いの仕方と、その手立て

互いに学び合い，深め合う学習集団の育成  
～主体的・対話的な学びを通して～

## 【成果】

- 学習に取り組む姿勢や，聞き方などを意識して学習できる児童が増えた。
- 自分の考えをもったり，進んで話したりする児童が増えた。
- 聞き合うことで，学級風土や学習意欲につながることができた。
- 主体的に学ぶ姿が見られるようになった。
- 互いに学び合う姿も見られるようになった。

## 【課題】

- 単元を貫く言語活動と1単位時間の課題との関わり（国語科としての教科の特性）
- 必要感のある課題の設定のあり方
- 交流のもち方（交流が目的になっていないか、交流の意味、目的）をさらに意識する
- 振り返りの時間の確保と、その生かし方
- 深い学びに結び付くような話合いの仕方と、その手立て

互いに学び合い，深め合う学習集団の育成  
～主体的・対話的な学びを通して～

# 1時間の学習過程と子どもたちの姿

学習過程

主体的・対話的な学びにするための課題・発問

見通し

主体的な自力解決

主体的な協働解決(対話)

振り返り

児童の思考変容

意欲 <喚起>

意欲 <持続>

対話的な学びにより <更に意欲的>に

対話的な学びにより <新たな見方・考え方>を身に付ける  
= 多様性にふれる・新しい視点を獲得

他者との対話や協働によって考えが深まったり確かなものになったり変化したりしたことを <自覚>する

主体・対話

深い

## 子どもの姿「主体的って??」(研究部)

- ◆ 出された課題に対して全員が一生懸命取り組んでいる。
- ◆ 自分の考えをもって、本文を何度も読み返したり、別のページからも根拠を探そうとしたりしている。
- ◆ 根拠となる情報を本文に付け足している。
- ◆ 個人思考の後、自分の考えを書いた後、「友達はどんな考えなんだろう?」と、友達の考えが気になる状態になっている。

共有したい  
子どもの姿  
~って、  
こういう  
姿だよ

## 子どもの姿「対話的って??」(研究部)

- ◆ 「なるほどね。」と相づちを打って聞いている。
- ◆ 「私もそうだったよ。」「~なら分かるよ。けれど...」共感した上で自分の考えを述べている。
- ◆ 「~さんはどう思ったの?」...意見を引き出そうとしている。
- ◆ 友達の考えを聞いて、首を傾けながら考えている。  
(自分自身と対話 → 対話の中で発言はなかなかできないが、考えをもったり、変容させたりして、振り返りにそれを書いている。)

## 子どもの姿「深まるって??」(研究部)

- ◆ 「そうだ! さっきね、〇〇くんが言っていたんだけど...」 ◆ 前に話していたこととつなげて発言。
- ◆ 異なる意見を聞いて驚嘆している。「おお!」「すごい!」 ◆ 「でもね、私たちの班では...」...新たな視点で話す。
- ◆ 対話で自分の考えをもったり、さらに考えたいことが生まれたりしたことにより、振り返りのえんぴつの動きが最後まで止まらない。

# I 研究の概要

## (2) 目指す子ども像

- 自信をもって学習に取り組む子
- 見通しをもち、目的意識をもって学習に取り組む子
- 互いに関わり合って、自分の学びを見つめ直すことができる子



### 【研究仮説1】

学習規律を確立し、ユニバーサルデザインの視点から、教室環境を整備することで、安心して学習に取り組むことができるだろう。

### 【研究仮説2】

単元を通して、何のために、何をどのように学ぶのかを明確にすることにより、主体的に学習に取り組むことができるだろう。

### 【研究仮説3】

課題設定や発問を工夫し、論点を明確にした交流場面を設定することで、互いに関わり合って、自分の学びを見つめ直すことができるだろう。



## Ⅱ 研究内容について

## II 研究内容について

### 【研究内容 1】 学習の基盤

学習規律を確立し，ユニバーサルデザインの視点から，教室環境を整備することで，安心して学習に取り組むことができるだろう。

- ◇ 学習規律の確立
- ◇ 学習の仕方の提示
- ◇ これまでの学習内容が分かる掲示

◇ 学習規律の確立

ながやましょうがっこう  
永山小学校

がくしゅう じょう  
学習の9か条

じゅんび  
【準備】



1. 学習用具を準備してから、休み時間にします。  
がくしゅうようぐ じゅんび やす じかん
2. 学習の開始時刻に間に合うように、席に座って待ちます。  
がくしゅう かいしじこく ま あ せき すわ ま
3. 正しい姿勢で、学習します。  
ただ しせい がくしゅう

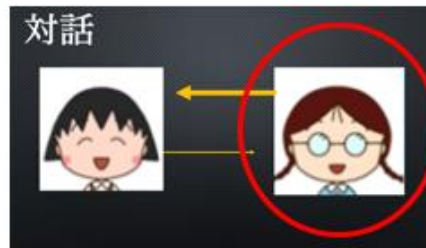
はな  
【話す】

4. 最後まではっきり話します。  
さいご はな
5. 自分から一番遠くの人に聞こえる  
じぶん いちばんとお ひと き  
声で、話します。  
こえ はな
6. 場に応じた言葉づかいで話します。  
ば おう ことば はな

き  
【聞く】

7. 話し手の方を見て聞きます。  
はな て ほう み き
8. 最後まで聞きます。  
さいご き
9. うなずきながら聞きます。  
き

# ◇ 学習規律の確立



聞き手を育てる

5年生

話し合いを生む  
【聞き上手】になるための 5か条

【聞き上手】の頭の中は・・・

- 1 話し手の話を大事にして聞いている。
- 2 自分の考えと比べられた。  
→ 同じ！  
→ ちょっと違うな。
- 3 自分の考えを変えたり、新たな考えを付け加えたりすることができた。
- 4 新しい考えを思い付いた。
- 5 分からないときは、考えがもてなかったのに、もてるようになった。

聞き方上手な行動は・・・

- ・うなづく、目を見る、表情に表す
- 聞き手と話し手の向き
- ・〇〇さんが言っていたのと同じで、
  - ・そうそう同じ、う～んなど声に出して反応
  - ・相手の考えを受け止めることができる。

誰かの意見をもとに考えたことを振り返りで表現する。（ノートに書いたり話したり）

- ・〇〇さんのおかげで思いついた。振り返ることができた。

# ◇ 学習規律の確立

話している人を大事にした  
聞き方 聞き上手になるPP

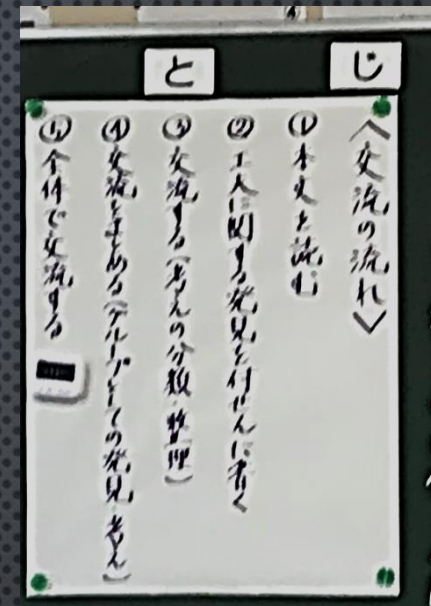
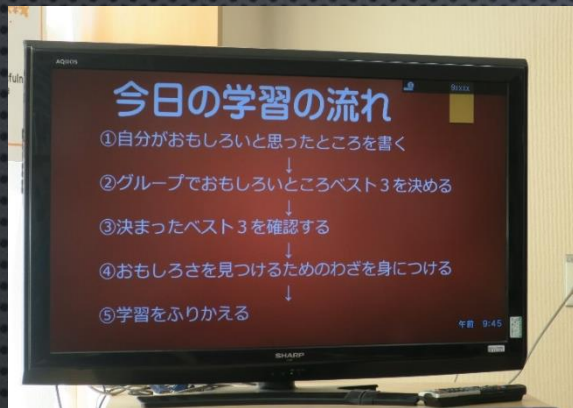
- ① うなずき、うんえん、ん?
- ② あ〜、「おお!」「しらなかった!」「えん!」
- ③ 聞えなかったからもう1回! どういう意味?
- ④ 思いつかなかった! ほくもん、わたしもん、書いた!
- ⑤ ~の考え、気になる... ⑨ しすかに! きこう!
- ⑥ いいねえ! ⑩ 目を見てしせい
- ⑦ たしかに! ⑪ そう! ② ちゃんとわかつやく
- ⑧ ああ! そううんとか! くわしくせつめい

レベル高い!!  
その人の言ったことをわかりようとしてね!

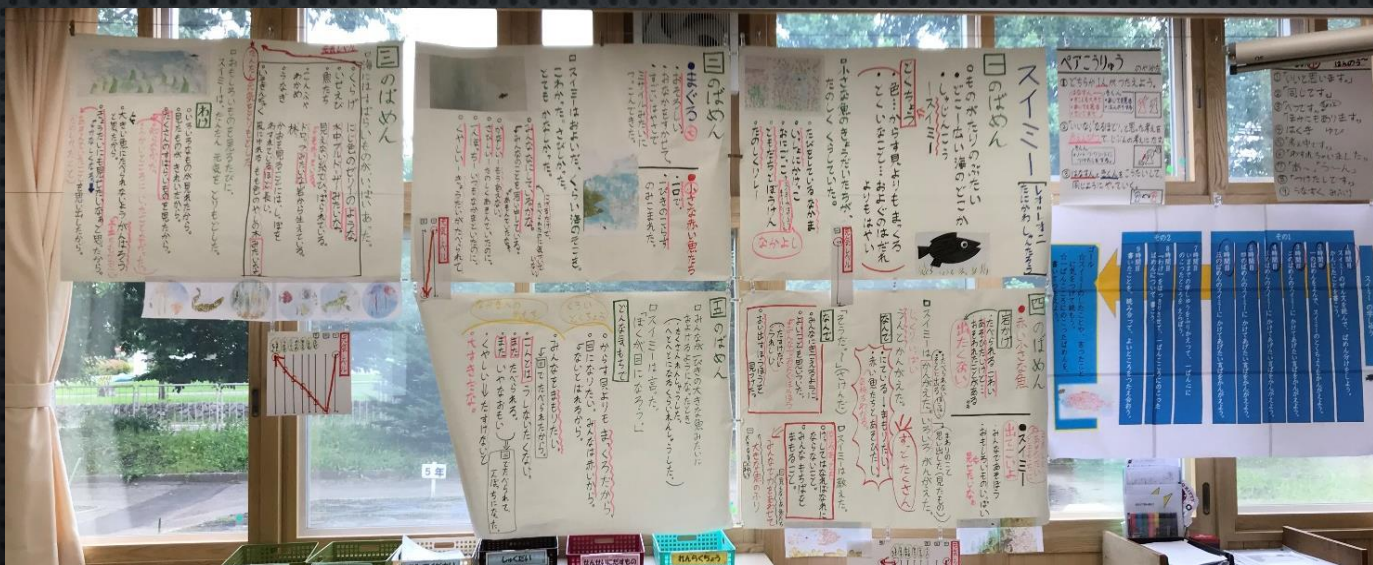
**ききかた めいじん**

いいね! すごいね!  
なるほど! お〜!  
おなじです! にっています!  
ああ〜! そうだね!  
わかった! うんうん!  
そうだよね! べつです!  
こんなかんがえもあるよ!

## ◇ 学習の仕方の提示



## ◇ これまでの学習内容が分かる掲示



## Ⅱ 研究内容について

### 【研究内容 2】単元の指導計画

単元を通して、何のために、何をどのように学ぶのかを明確にすることにより、主体的に学習に取り組むことができるだろう。



1時間目  
スイミーのぜん文を読んで、ばめん分けをしよう。  
かんじたことを書こう。

2時間目  
一のばめんをよんで、スイミーのとくちようをかんがえよう。

3時間目  
二のばめんのスイミーにかけてあげたい言ばをかんがえよう。

4時間目  
三のばめんのスイミーにかけてあげたい言ばをかんがえよう。

5時間目  
四のばめんのスイミーにかけてあげたい言ばをかんがえよう。

6時間目  
五のばめんのスイミーにかけてあげたい言ばをかんがえよう。

7時間目  
いままでの学しゅうをふりかえって、一ばん心  
のこったところを えらぼう。

8時間目  
「わけ」をはつきりさせて、一ばんころにのこった  
ばめんについて書こう。

9時間目  
書いたことを、読み合って、よいところをつたえ合おう。

ゴール

☆スイミーのしたことや、言ったこと  
に気をつけて読もう。

☆一ばんころにのこったばめんを、  
書いてつたえよう。





## ゴール

## その2

## その1

めあて

いろいろな国の民話や昔話を読んで、おもしろいと思うところをしようかしよう。

### 三年とうげ

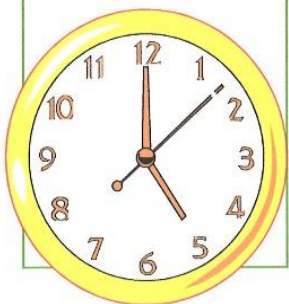


- ① 三年とうげをはじめ読んで感じたことを書こう。
- ② 三年とうげのないようをかめ、音読を楽しもう。
- ③ 様子を表す文から、おじいさんの気持ちを考えよう。
- ④ 三年とうげ「のおもしろいところベスト3を決め、おもしろさを見つけるわざを身につけよう。
- ⑤ えらんだ本のをしようかいる発表メモを作ろう。
- ⑥ えらんだ本のおもしろいところをしようか合おう。

第3次	第2次	第1次
<p>⑪ 作文を付せんを使って交流し、自分の考えを広げたり深めたりしよう。</p>	<p>⑥ 初発の感想を書こう。</p> <p>⑦ 「時計の時間と心の時間」の文章構成を考え、筆者の主張をとらえよう。</p> <p>⑧ 「時計の時間と心の時間」の書き方の工夫点を考えよう。</p> <p>⑨ 筆者の主張に対する自分の考えを付せんに書いて、交流しよう。</p> <p>⑩ 時間について考えたことを作文に書こう。</p>	<p>「笑うから楽しい」を読もう</p> <p>① 初発の感想を書こう。</p> <p>② 単元の見通しをもとう。</p> <div data-bbox="1362 197 1429 992" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>筆者の考えに対する自分の考えを書き、卒業文集の1ページに加えよう</p></div> <p>③ 「笑うから楽しい」の文章構成を考え、筆者の主張をとらえよう。</p> <p>④ 「笑うから楽しい」の書き方の工夫点を考えよう。</p> <p>↓自分で書く時に生かそう</p> <p>⑤ 筆者の主張に対する自分の考えを付せんに書いて、交流しよう。</p>

【単元で身に付く力】

- ① 筆者の主張に対して、自分の考えをもつ力
- ② 説得力のある文を書く力



## II 研究内容について

### 【研究内容3】 本時の授業展開の工夫

**課題設定や発問を工夫し，論点を明確にした交流場面を設定することで，互いに関わり合って，自分の学びを見つめ直すことができるだろう。**

### 子どもの姿「主体的って??」

- ◆出された課題に対して全員が一生懸命取り組んでいる。
- ◆自分の考えをもって、本文を何度も読み返したり、別のページからも根拠を探そうとしたりしている。
- ◆根拠となる情報を本文に付け足している。
- ◆個人思考の後、自分の考えを書いた後、「友達はどんな考えなんだろう?」と、友達の考えが気になる状態になっている。

### 子どもの姿「対話的って??」

- ◆「なるほどね。」と相づちを打って聞いている。
- ◆「私もそうだったよ。」「～なら分かるよ。けれど…」共感した上で自分の考えを述べている。
- ◆「～さんはどう思ったの?」…意見を引き出そうとしている。
- ◆友達の考えを聞いて、首を傾けながら考えている。(自分自身と対話 → 対話の中で発言はなかなかできないが、考えをもったり、変容させたりして、振り返りにそれを書いている。)

共有したい子どもの姿  
「～って、こういう姿だよね」

### 子どもの姿「深まるって??」

- ◆「そうだ! さっきね、〇〇くんが言っていたんだけど...。」
- ◆前に話していたこととつなげて発言。
- ◆異なる意見を聞いて驚嘆している。「おお!」「すごい!」
- ◆「でもね、私たちの班では...」...新たな視点で話す。
- ◆対話で自分の考えをもったり、さらに考えたいことが生まれたりしたことにより、振り返りのえんぴつの動きが最後まで止まらない。

# 基本の1単位時間の流れと 授業づくり

学習過程

主体的・対話的な学びにするための課題・発問

見通し

主体的な自力解決

主体的な協働解決  
(対話)

振り返り

## Part 2

### 課題設定・発問づくり

- 必要感がある
- 条件が明確
- 意欲を高める
- 意見が出しやすい
- 多様な考えが出る
- 深まる
- 学び合いに耐えうる... 課題・発問

## Part 2 対話場面の工夫 (交流形態・目的)

- 交流形態の設定  
授業の目的に沿った交流形態を考え、設定する。
  - 交流の目的の明確化
- 例
- ① 課題にみんなで迫る
  - ② 考えを一つに(いくつかに)絞る・まとめる・生み出す
  - ③ 自分の考えを広げる

## Part 4 学びを自覚化 させられる 振り返りの 工夫

- どんな方法で振り返りさせるか。
- どんな視点で振り返りさせるか。

## Part 1 子どもの実態把握・ゴールの明確化

- 単元計画→単元の中での1時間の位置付けの明確化
- 学級・学年の子どもたちに1時間で身に付けさせたい力の明確化(指導事項)

## Part 0 (4月からの日常的な取組)

＜対話を生む聞き方＞の土台づくり

## ◇ 課題設定・発問の工夫

子どもたちが意欲をもち、「対話したくなる」「解決したくなる」課題・発問パターン

平成30年 永山小学校研究部

### ① 単元のゴールに直結している課題

例：「時間」に対する自分の考えを広げよう。（説明文）  
（→「自分の考えを書き、卒業文集の1ページに加えよう」というゴールにつながる）

例：読んでみたいと思ってもらえるような、イチオシのキャッチコピーを選び、キャッチコピーをよりよくするポイントを見つけよう。→（「自分達のおすすめの本を紹介し合っ、読書の新たなみりょくを見つけよう。」というゴールにつながる）

最終的な「行動」をゴールとして課題の中で示すと、

①自分のできていること・できていないことを自覚しやすい・②協働性が上がるという先行研究があります！

### ② 行動表記型 課題

例：「お父さんがなぜ、花を見つめて去って行ったのか」について話し合い、考えを書くことができる。（物語：一つの花）

授業検討や1学期の反省の中でも挙げられていたが、やはり、「解決したくなる」「話したくなる」課題・発問がポイントではないかと考えました。

### ③ <対立><葛藤>を生む課題・発問

例：兵十が、ごんを撃った後、一番最初に見たのはどれでしょう？  
A ごん B 家の中 C かためて置いてあった栗 （物語：ごんぎつね）

そこで<対立><葛藤>が1つのヒントになればと思います。

### ④ <選択><発見>を促す課題・発問

例：豆太の気持ちが一番強く伝わってくる一文はどれでしょう？ （物語：モチモチの木）

これらを発問等に盛り込むと、「どれだろう？」「みんなはどう考えているんだろう？」「聞きたいな。」という思考が生まれます。「だってさ。」「でもさ・・・」と根拠をもって交流する子どもたちの様子が目に浮かびます。

### ⑤ 他者意識・役割意識をもたせる発問

例：1年生に「ウナギの謎を追って」がどんなお話が説明します。どのように要約したらよいでしょう？ （説明文：ウナギの謎を追って）

「1つに絞る」「3つに絞る」「ランキングをつける」というある種の「しぼり」を課題や発問に盛り込むだけで、思考や対話が、「拡散から→収束」へ向かい、活性化します。

### ⑥ 自分たちで新たなものを生み出す課題

例：説明文読み取りのポイントを3つ、班でつくり出そう。

ポイントは・・・

#### ① 「間接性」を大切にす

ストレートに聞きすぎると、子どもたちの思考は活性化されず、対話も発表会に…。間接的に問うことも大切です。

#### ② 「ちょっと頑張ればできそう！」な課題・発問を作る！

「～に説明する」という他者意識、「～だったら」という役割意識をもたせると、「この人に伝えるならこの表現を分かりやすく…」というように思考が活性化し、対話も機能します。

## ◇ 交流の目的

6年生「時計の時間と心の時間」の授業では・・・

**「時間」に対する自分の考えを広げる。**

2年生「スイミー」の授業では・・・

**スイミーの気持ちに対する考えを交流し、  
自分と同じところ・違うところを見付ける。**

3年生「三年とうげ」の授業では・・・

**グループで「おもしろいところベスト3」を決める。**

5年生「本は友だち」の授業では・・・

**グループで、  
「みんなにおすすめしたキャッチコピー」を決める。**

2年生「ともこさんはどこかな」の授業では・・・

**グループで、「まいごの子をさがすために  
聞きたいことベスト3」を決める。**

1年生「くちばし」の授業では・・・

**グループで、「問い」と「答え」をさがす。**

# ◇ 振り返りの工夫

振り返りカード「笑うから楽しい」「時計の時間と心の時間」		
	理解度	振り返り（分かったことや楽しかったこと 等）
1	4 3 2 1 分かった ←→ 分が6なかった	..... .....
2	4 3 2 1 分かった ←→ 分が6なかった	..... .....
3	4 3 2 1 分かった ←→ 分が6なかった	..... .....
4	4 3 2 1 分かった ←→ 分が6なかった	..... .....
5	4 3 2 1 分かった ←→ 分が6なかった	..... .....
6	4 3 2 1 分かった ←→ 分が6なかった	..... .....
7	4 3 2 1 分かった ←→ 分が6なかった	【單元を終えて】 ..... .....

組 番



◇ 振り返りの工夫

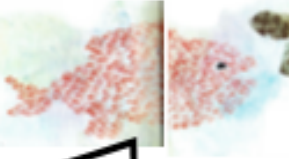
◆ スイミー [五のぼめん]

名前：

◆ スイミーがしたことについて「をひき、をまわす」を1回か「をまわす」を1回、をまわすことについて振り返ります。

【じぶんの手紙】

◆ スイミーにかけてあげたこと、ぼんは、どんなことぼんはですか。



(まげ)

◆ めいめいがかえしてきょう。めいめいは、と書いてきょう。めいめいは、と書いてきょう。めいめいは、と書いてきょう。

◆ と書いてきょう。めいめいは、と書いてきょう。めいめいは、と書いてきょう。

◆ と書いてきょう。めいめいは、と書いてきょう。めいめいは、と書いてきょう。

◆ と書いてきょう。めいめいは、と書いてきょう。めいめいは、と書いてきょう。

◆ と書いてきょう。めいめいは、と書いてきょう。めいめいは、と書いてきょう。



◇ 振り返りの工夫

「三年とごぼう」④ 名前（ ）

三年とごぼうのおまごんを決定、おまごんを身につけるおまごんを身につける。



おまごんがったとごんごんごんごん理由（内々う・文をひから）

Four horizontal lines for writing, with a dashed midline.

ふりかえり

今日の授業で気づいたこと・感じたことや次の時間に生かしたいことを書きましょう。

Four horizontal lines for writing, with a dashed midline.



ご静聴，ありがとうございました。

平成30年度 旭川市立永山小学校 公開研究会

後援：「旭川教育の日」推進協議会

